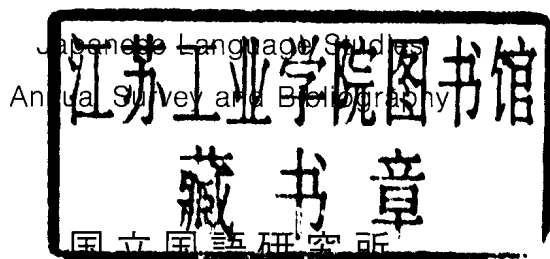


国語年鑑

1996年版

KOKUGO-NENKAN
1996



The National Language Research Institute

大日本図書

pub., DAINIPPON TOSHO

国語年鑑 1996年版

KOKUGO-NENKAN 1996

Japanese Language Studies : Annual Survey and Bibliography

1997年1月10日 印刷

定価 7,828円(本体 7,600円)

1997年1月15日 発行

編者 国立国語研究所

〒115 東京都北区西が丘3-9-14

電話 (03)3900-3111

発行者 大日本図書株式会社

代表者 金子賢太郎

印刷者 株式会社 デンプロ

代表者 内藤 錦樹

〒104 東京都中央区銀座1-9-10

発行所 大日本図書株式会社

Tel. (03)3561-8678(編集)

(03)3561-8679(販売)

Fax. (03)3561-3065

振替 00190-2-219

UDC (058) "55" 809.56

NDC 810.5

ISBN4-477-00804-X C3002

この年鑑を使う人のために

1. この年鑑は、1995年1月1日から12月31日までの国語関係資料に基づき、「文献」「名簿」「資料」の3部に分けて編集した。巻末に「索引」を付けた。
2. 「文献」の刊行図書および雑誌論文は、原則として、直接もとのものに基づいて記録し、分類別に掲載した。採録した図書・雑誌の発行所一覧をそれぞれの項に続けて掲載した。

未入手、あるいは未見の故に掲載できなかったものも多いかと思われる。国立国語研究所にご連絡、ご寄贈いただければ幸いである。

なお現在、国語年鑑の編集は従来カードによる手作業から、コンピュータによる機械作業へと、その方法を移行させつつある。試行錯誤が続いているため不備な点も多々あるかと思う。ご意見やご注意を得て、順次改善していきたい。

3. 「名簿」は、国語関係者名簿、各学会・関係諸団体の一覧等を掲載した。なお、国語関係者名簿は、国内・国外合わせて2000余名を収めた。現住所・現職は、原則として1996年7月末現在である。
4. 「資料」は、「文部省科学研究費等の交付状況」その他を収めた。
5. 巻末の「索引」は、この年鑑に収めた刊行図書・雑誌論文について、それぞれ編著者名から題目番号によって検索できるようにした。
6. この年鑑の編集は、伊藤雅光・新野直哉・伊藤菊子・江川 清が担当した。

目 次

第1部 文 献

刊行図書一覧	7
国 語 (学)	8
国 語 史	15
音 声・音 韻	18
文 字・表 記	20
語 彙・用 語	23
文 法	27
文 章・文 体	31
方 言・民 俗	33
ことばと機械	39
コミュニケーション	40
マス・コミュニケーション	49
国 語 問 題	50
国 語 教 育	51
外国人に対する日本語教育	59
言 語 (学)	62
辞典・用語集	70
参 考 資 料	84
国語研究資料	88
(’96年版追補)	120
採録図書発行所一覧	136
雑誌論文一覧	151
国 語 (学)	152
国 語 史	157
音 声・音 韻	161
文 字・表 記	165
語 彙・用 語	169
文 法	178
文 章・文 体	193
古典の注釈	197
方 言・民 俗	199
ことばと機械	204
コミュニケーション	207
マス・コミュニケーション	214
国 語 問 題	215
国 語 教 育	217
外国人に対する日本語教育	227
言 語 (学)	233
参 考 資 料	244
書 評・紹 介	245
(’96年版追補)	247
採録雑誌発行所一覧	257

第2部 名 簿

1. 国語関係者名簿	283
2. 各学会・関係諸団体一覧	425
3. 学術団体・審議会等における関係者氏名	435

第3部 資 料

平成7年度文部省科学研究費等の交付状況	439
受賞一覧(関係学会賞など)	468
『国語年鑑』所収「資料」一覧	472
索引(刊行図書・雑誌論文著編者名)	477

第 1 部

文 献

(刊行図書・雑誌論文)

刊 行 図 書 一 覧

- 1995年1か年の刊行図書の文献目録を分類別に掲載した。
各文献内の記載は、題目番号・書名・(著編者)・発行所・
発行年月・判型・ページ数・定価の順である(ただし欧文学
文献目録は著編者：書名への順である)。適宜、解説、目次を
記した。
- *印の刊行図書は、国立国語研究所で入手できなかったも
のである。*印のものおよび収載もれの刊行図書等につい
て、ご連絡ご寄贈いただければ幸いである。

国 語 (学) (T1~51)	8
国 語 史 (T52~71)	15
音声・音韻 (T72~82)	18
文字・表記 (T83~112)	20
語彙・用語 (T113~165)	23
文 法 (T166~191)	27
文章・文体 (T192~207)	31
方言・民俗 (T208~272)	33
ことばと機械 (T273~278)	39
コミュニケーション (T279~421)	40
マス・コミュニケーション (T422~427) ...	49
国 語 問 題 (T428~432)	50
国 語 教 育 (T433~547)	51
外国人に対する日本語教育 (T548~573) ...	59
言 語 (学) (T574~661)	62
辞典・用語集 (T662~896)	70
参 考 資 料 (T897~946)	84
国語研究資料 (T947~1374)	88
(’96年版追補) (T1375~1595)	120

国 語 (学)

書 名 (著編者) 発行所 発行年月 判 ページ数 定価

◇国語(日本語)一般

- 1 * あらさがし平成の日本語 有名人の失敗、恥かき、NGこそ最高の師 (野末陳平)
青春出版社 1995-3 B6 240p 1100円
 - 2 * 井上ひさしの日本語相談〈朝日文芸文庫〉 (井上ひさし)
朝日新聞社 1995-11 A6 264p 570円
 - 3 * 大岡信の日本語相談〈朝日文芸文庫〉 (大岡信)
朝日新聞社 1995-11 A6 288p 600円
 - 4 * 大野晋の日本語相談〈朝日文芸文庫〉 (大野晋)
朝日新聞社 1995-11 A6 383p 720円
 - 5 * 丸谷オ一の日本語相談〈朝日文芸文庫〉 (丸谷オ一)
朝日新聞社 1995-11 A6 292p 600円
 - 6 * 現代ニホン語探検 (出川直樹) 小学館 1995-12 B6 285p 1200円
 - 7 こちら日本語校正室 まちがいだらけのことは選び〈光文社文庫〉 (岡橋隼夫)
光文社 1995-7 A6 279p 540円
 - 8 * 言の葉の心夢はるか (梅内薫) 近代文芸社 1995-5 B6 235p 1500円
 - 9 * 言葉について 私たちに問われているもの (石川英利)
近代文芸社 1995-4 B6 90p 1200円
 - 10 ことばの政治学〈同時代ライブラリー218〉 (永川玲二)
岩波書店 1995-3 A6 5,351p 1200円
- [1979年5月筑摩書房刊]
- 11 ことばの知識百科 何でもわかる (三省堂編修所編)
三省堂 1995-3 B6 736,90p 2500円
 - 12 * 誤用だらけの日本語の謎 “ものの言い方”7つの大発見!〈プレイブックス〉 (武光誠)
青春出版社 1995-2 B6 211p 800円
 - 13 * 辞書にない「ことばと漢字」3000〈講談社+α文庫〉 (パキラハウス)
講談社 1995-2 A6 451p 1000円
- 〔「辞書にないことば面白読本」(主婦と生活社1984年刊)の改題〕
- 14 * 自分にとっての美しい日本語 表現についての断章 (小南武朗)
東林出版社(星雲社) 1995-9 B6 250p 2500円
 - 15 * 日本語使いさばき辞典 時に応じ場合に即し (現代言語研究会著 日本レキシコ編)
アストロ教育システムあすところ出版部 1995-4 B6 544p 2800円
 - 16 * 日本語根はり葉はり〈新潮文庫〉 (森本哲郎)
新潮社 1995-2 A6 231p 400円
 - 17 * 日本語の謎にズバリ! 答える本〈Kawade 夢文庫〉 (日本語倶楽部編)
河出書房新社 1995-7 A6 237p 480円
 - 18 日本語はおもしろい〈岩波新書373〉 (柴田武)

- 岩波書店 1995-1 B40 7,204p 620円
- 19 * 日本語は国際語になりうるか 対外言語戦略論〈講談社学術文庫〉(鈴木孝夫)
講談社 1995-7 A6 242p 760円
- 20 * 日本語ミステーク読本 テレビも新聞も間違いだらけ!?(ワニ文庫)(島野功緒)
ベストセラーズ 1995-6 A6 229p 480円
- 21 * 編集出版用語誤用集 大丈夫?!あなたの“常識”(横山和雄)
出版ニュース社 1995-10 B6 233p 1600円
- 22 * マルチメディア時代の日本語ケアブック(読売新聞校閲部編)
読売新聞社 1995-12 B6 217p 1000円
- 23 * 目からウロコ!日本語がどことんわかる本〈講談社+α文庫〉(日本社)
講談社 1995-9 A6 426p 980円
- 24 * 枠を超える発想 日本語の不思議な力を解明する(石井憲正)
致知出版社 1995-4 B6 220p 1200円
- 25 * <トホホ…な日本語>㊟事典 辞書では引けない ニュースで職場で店頭で、いっ
つも気になる大疑問〈青春 best 文庫〉(平成のオキテ研究会編)
青春出版社 1995-3 A6 253p 480円
- 26 ことばの森(かめいたかし) 吉川弘文館 1995-7 B6 7,308p 2678円
I ことばのすがた II ことばのまわり III 書物の考古学 IV 追想のひとびと
- 27 日本語探検(川崎洋) 読売新聞社 1995-6 B40 254p 1000円
- 28 日本語を考える(柴田武) 博文館新社 1995-7 A5 256p 2700円
- 29 愛心愛語抄 言語研究の一小径に立って(藤原与一)
三弥井書店 1995-5 B6 202p 2800円

◇国 語 学

- 30 * 日本語の視点 ことばを創る日本人の発想(森田良行)
創拓社 1995-2 B6 331p 1600円
- 31 日本語の特質(佐久間鼎著 清水康行解題)
くろしお出版 1995-5 B6 302p 4300円
[1941(昭16)年3月,育英書院刊(初版)の復刻版。再版での正誤表及び索引が新たに付された。解題 p.269-290]
はしがき 1.日本語の音韻 2.音韻学的対立 3.音韻の体系 4.「こえ」の同化 5.アクセントの現象 6.アクセントの法則性 7.文のくみため 8.品さだめの文の特色 9.文の成分 10.動作の方途 11.吸着語の用途 12.「代名詞」の問題
- 32 日本語「らしさ」の言語学(城生佰太郎;松崎寛)
講談社 1995-1 B6 265,5p 1700円
1.「らしさ」の構造 2.文字表記の「らしさ」 3.語形の「らしさ」 4.語彙の「らしさ」 5.文法の「らしさ」 6.音声の「らしさ」I 7.音声の「らしさ」II 8.「らしさ」の結末
- 33 概説日本語(北原保雄編著) 朝倉書店 1995-3 A5 6,168,5p 2472円
- 34 * 概説日本語学(飯田晴巳;中山緑朗編 鈴木一彦;林巨樹監修)
明治書院 1995-9 A5 351p 2500円
- 35 日本語学(谷光忠彦;福田真久;坂詰力治;後藤剛;伊東光浩)

酒井書店 1995-5 A5 197p 2200円

36 日本古辞書を学ぶ人のために (西崎亨編)

世界思想社 1995-5 B6 6,390p 3600円

第1章 古辞書へのいざない (西崎亨) 第2章 古辞書の歴史 1.奈良・平安時代の辞書 (山田健三) 2.鎌倉時代の辞書 (江口泰生) 3.室町時代の辞書 (萩原義雄) 補節 江戸時代の辞書 (湯浅茂雄) 第3章 主要辞書各説 (西崎亨; 乾善彦; 萩原義雄) 付章 年表・目録 古辞書略年表 (西崎亨) 古辞書影印刊行目録 (西脇朗子; 萩原義雄) 古辞書関係研究文献目録 (山田健三)

◇国語学史

37 *江戸の思想 2 言語論の位相 (「江戸の思想」編集委員会編)

ペリかん社 1995-10 A5 177p 1900円

38 春庭の語学研究 近世日本文法研究史〈研究叢書161〉 (渡辺英二)

和泉書院 1995-2 A5 22,577,6p 15450円

第1部 「詞八衢」 1.語学研究の動機 2.「詞八衢」の内容 3.初稿本「詞八衢」の例語 4.証例と例語 5.刊本「詞八衢」の成立 付節 「詞つかひ」 1.「詞つかひ」と柴田常昭 2.「詞つかひ」の活用論 3.「詞つかひ」と「活用言の冊子」の例語 第2部 「詞通路」 1.自(動詞)・他(動詞)の研究 2.六段図と上下対置語 3.自他詞の成立 4.文構造の研究 5.「詞八衢」と「詞通路」の草稿 6.春庭の語学

39 *阿蘭陀通詞今村源右衛門英生 外つ国の言葉をわがものとして(丸善ライブラリー145) (片桐一男)

丸善 1995-1 B6 276p 700円

40 国語学の五十年 (国語学会編)

武蔵野書院 1995-5 A5 639p 9800円

国語学会五十年と私 (林大) 国語学会の五十年 (阪倉篤義) 国語学の五十年の歩み 方言研究の動向に触れつつ (平山輝男) 国語学の五十年の歩み 訓点語研究を中心に (春日和男) 音韻(理論) (こまつひでお) 音韻(史的研究) (馬淵和夫) 音韻(現代) (柴田武) 文法(理論) (渡辺実) 文法(史的研究) (山口堯二) 文法(現代) (北原保雄) 語彙(理論) (森岡健二) 語彙(史的研究) (佐藤喜代治) 語彙(現代) (西尾寅弥) 文字・表記(理論) (野村雅昭) 文字・表記(史的研究) (小林芳規) 文字・表記(現代) (樺島忠夫) 文章・文体(理論) (南不二男) 文章・文体(史的研究) (築島裕) 文章・文体(現代) (西田直敏) 国語学史 (山口明穂) 資料復刻・索引 (安田章) 話し言葉 (宮地裕) 言語生活 (林四郎) 方言 (加藤正信) 社会言語学 (徳川宗賢) 言語理論 (池上嘉彦) 数理的研究 (水谷静夫) 言語政策 (野元菊雄) 国語教育 (古田東朔) 日本語教育と日本語研究 (水谷修) 世界の中での日本語 (金田一春彦) 国語学会草創期の回顧 国語学会会報をめぐって (永野賢) 国語学会の初期のこと (大野晋) <付録>国語学会五十年史資料

◇論文 集

41 国語学論集 築島裕博士古稀記念 (築島裕博士古稀記念会編)

汲古書院 1995-10 A5 6,1212p 30000円

築島裕博士略年譜・研究業績目録 「景行記」訓釈・四題 (山口佳紀) 人数を意味しないヒトリ (安田尚道) 義注の研究 善珠「因明論疏明燈抄」の場合 (白藤礼幸) 延喜式祝詞の表現とその形成 (沖森卓也) 一文字をたにしらぬものしかあしは十文字にふみてそあそふ

「土佐日記」解釈上の一問題（武井睦雄） 「三宝絵」東大寺切における「絵解き」部分の性格（増成富久子） 係結びの変遷（山口明穂） いわゆる「進行態」について（金水敏） メノマエ性と視点（I） 移動動詞の～タリ・リ形と～ツ形、～ヌ形のちがひ（鈴木泰（国語学）） 動詞の終止形による終止 中古仮名文学作品を資料として（小島聡子） 平安時代中期における謙譲の補助動詞について 蜻蛉日記・宇津保物語・源氏物語を資料として（山岡俊文） 助動詞の形と意味 源氏物語中の「めり」「終止なり」（尾方理恵） 助詞「へ」の歴史についての認知論的考察（森雄一） 「べし」の違い 古今集と三宝絵詞（伊東光浩） ベシの諸用法の位置関係（川村大） 今昔物語集の否定表現について 「アラズ（ジ）」と「ナシ」（谷光忠彦） 「往生要集」の諸本に就いて（古田恵美子） 平安中期訓読語の混亡と継承（小林芳規） 因明論疏の古訓点について（月本雅幸） 北野本日本書紀の訓点（石塚晴通） 経の訓読と儀軌の訓読 中院僧正点資料を中心として（松本光隆） 高山寺法鼓台田蔵「仏説天地八陽神咒経」について（柏谷直樹） 岩崎本日本書紀における敬語の附訓意識について（尹幸舜） 興福寺大本慈悲寺三蔵法師伝古点における助数詞について（三保忠夫） 元永本「古今和歌集」の漢字使用の一側面（徳永良次） 「御堂関白記」自筆本の漢字字体をめぐる二、三の問題（峰岸明） 平安、鎌倉時代の仮名書状について 漢語とその表記を視点として（金子彰） 異体がな使い分けの発生（矢田勉） 伏見院宸翰本「松浦宮物語」の仮名遣いについて 和語を中心として（坂詰力治） 草双紙の用字法 赤本の仮名字体の用法を中心に（久保田篤） 倭名類聚抄諸本の書承関係の検証 上同と同上・ウマとムマ・衣と江・云と日・已上本注（宮沢俊雅） 図書寮本類聚名義抄に引用された信行撰書について（山本秀人） 高山寺本類聚名義抄における書写方針の変化について（小林恭治） 呉音と音義の音注（沼本克明） 悉曇学書に見られるインドの諸方言について 「呉音」「漢音」を理解するために（肥爪周二） 声明資料とその一研究（花野憲道） 四音節名詞における東京式アクセント（柳田征司） 十一世紀における僧侶による表白文の作成 大御室性信時代の平教阿闍梨と濟延僧都（山本真吾） 高山寺明恵上人行状の夢の記事について（奥田勲） 東大寺図書館蔵「五教章類集記」の資料的性格 義林房喜海による講説の関書類として（土井光祐） 太平記の推量表現（菅原範夫） 「古今和歌集鄙言」の副詞について（後藤剛） いけねへ・いかねへ・いかねへ（坂梨隆三） 明治期以降の推量表現の推移 「でしょう」を中心に（鈴木英夫） 明治初期における聖書の翻訳と漢文訓読（斎藤文俊） 「のですか」質問文の表現性 体言化の機能という観点からの分類の試み（岡部嘉幸） 数量詞とハ・モ（井島正博） 終助詞「さ」「な」の働きについて（中野伸彦） 接続の「と」 用法の分類と関係づけのこころみ（仁科明） 「東大寺風誦文稿」における読み仮名の研究（シュテファン、カイザー） ロドリゲス文典の音声記述 自筆写本類を資料として（豊島正之） いわゆる相互動詞について（藤井正） <行為動詞>おぼえがき 三上章説の点検（まつもとひろたけ） <内容説明型><方法説明型>の「は」構文（菊地康人） 「音便形」 その記述（屋名池誠）

- 42 日本語の研究 宮地裕・敦子先生古稀記念論集（宮地裕・敦子先生古稀記念論集刊行会編） 明治書院 1995-11 A5 607p 9800円
 <古代語研究>ズ、ム、マシについて（野村剛史） 土佐日記の表現 文章構成を中心に（山根木忠勝） 源氏物語の文章「心地す」をめぐる（神谷かをる） テキストからシンタクスへ 源氏物語若紫の巻について（山内啓介） 源氏物語の助詞やについて（近藤要司） 平安期形容詞の意味と終止用法について 「枕草子」「源氏物語」「栄花物語」を資料として（吉田

光浩) 助動詞ベシと否定 (高山善行) 「十訓抄」における「つ」と「ぬ」 史の変遷を中心に (泉基博) 笑話の分析 「古今著聞集」巻十六「興言利口」について (大谷伊都子) 「夜昼」考 (小林賢章) 命令形式「未然形+い・さい」について 説経における用法と推移 (芹沢剛) 平安期までの「まなこ」に関する一考察 孤例の解釈 (宮地敦子) <近現代語研究> 日本語と韓国語における表現構造の対照考察 日本語の名詞表現と韓国語の動詞表現を中心として (林八龍) 語彙網のモデル (佐竹久仁子) ヌルイをめぐる温感表現について (岩野靖則) 「主義」という語の成立及び韓国語への流入問題 (李漢燮) 中日の四字熟語に見られる相違 中国起源のものを対象に (張麗華) 戦前の学生語 その造語法と語誌 (米川明彦) 現代日本語の中の女性語 韓国語との対照考察 (鄭秀賢) 京都町家における親族語彙 (寺島浩子) 再び「日中両語の助数詞」について (張麟聲) 引用論における「話し手投写」の概念 所謂「話法」の論のために (藤田保幸) 推量・比喩比況・例示 「よう／みたい」の多義性をめぐって (森山卓郎) 本体把握 「らしい」の説 (大鹿薫久) 助動詞「ようだ」「らしい」について (紙谷栄治) 科学・教育・学問 小見 (宮地裕)

43 日本語の研究と教育 窪田富男教授退官記念論文集 (窪田富男教授退官記念論文集編集世話人) 専門教育出版 1995-12 A5 603p

格助詞の重複について (新屋映子) 「から」と文の階層性 非演述型の場合 (姫野伴子) 名詞述語文におけるガの意味機能 (浅山友貴) 「だって」「たって」の本義とその用法の広がり (三枝令子) 終了の局面を取り立てる局面動詞について (山崎恵) 「してくる」と「していく」 (須田義治) 現代日本語における再帰構文 (稻村すみ代) 使役表現における使役対象の表され方と動詞の自他 (早津恵美子) 日本語の「させる」使役構文について (馮寶珠) モダリティに関与する動詞述語表現 (田中寛) 「そう」で導かれモダリティを伴った応答文について (柏崎雅世) 対話における「そうなんです」の使われ方 「話し手がしたい話」との相関 (Yung, Pui King) 副詞類の否定 「しない」と「するのではない」の比較 (Palihawadana, Ruchira) わかる説明を求めて ことばの意味の説明の試み (中道知子) 意味記述の枠組み設定に関する覚え書き (中道真木男) 会話の流れにおける尊敬語の視点とシフト (足立さゆり) 接続助詞「が」「けど」の文末用法について (石田恵里子) 討論における否定的評価のポライトネストラテジー B&Lの枠組の検証 (山口聖子) 日本語と中国語における「完了」 (北村よう) 中日対照現代語の動詞表現についての研究 可能表現の形式と意味を中心に (王恬) 日本語の取り立て助詞と中国語の範囲副詞についての対照研究 「だけ、しか、ばかり」と「只、光、淨」を中心に (張建華) ベトナム語のムードの表現 取り立て詞「まで」とその対応表現をめぐって (レー・バン・クー) 接続助詞及び接続詞の誤用について (徳田裕美子) 中国語を母語とする学習者の誤用をめぐって 格助詞を中心に (小池ユリ) 「～させていただく」をめぐって 松下大三郎「利益態」再考 (蔡瓊芳) 留学生・日本人学生混合クラスでまなぶ異文化コミュニケーション 「人生相談記事」を活用して (土屋千尋) 専門教育へつながる日本語教育の一試み (幸田佳子) コミュニケーション・ストラテジーとコミュニケーション能力 (武井直紀) フォリナー・トークの地域差に関する問題提起 (備前徹) 人称の習得 日本語児と英語児の習得過程を比較して (福原みどり) 日本語(東京下町方言)の中止イントネーション ピッチパターンによる類型化の試行 (原香織) 「日本大文典」におけるジョアン・ロドリゲスの ADUERBIO(副詞)について (馬場良二) 窪田富男先生年譜・窪田富男先生著述目録

- 44 [創価大学] 創立25周年記念論文集 ([創価大学] 創立25周年記念論文集編集委員会編) 創価大学出版会 1995-12 A5 19,1326p 非売
 <文学部英文学科>月名と数詞の音韻的形態の不一致から推定される弥生時代の二方言の対立 (川本崇雄) もうひとつのコミュニケーション 言語・文化の原型をもとめて:語用論的考察 (萩原明) <文学部日本語日本文学科>「源氏物語」における仏教語 (佐藤亨) 「宇治拾遺物語」会話文における目下への敬語の一考察 (藁谷隆純) 議事速記録を通して見たある個人の言葉 (金子弘) 第一人称のパラダイム 人間学諸分野の俯瞰 (山岡政紀) <文学部外国語学科中国語専攻>意味と訳語 (菱沼透) <別科>地域における日本語教育 八王子市を事例にして (石川恵子) 文章における「のだ」の機能 (山本忠行) スピーチにおけるテーマ進行について (倉光雅巳) <創価女子短期大学英語科>オーストラリアの人種差別表現 (西本徹)
- 45 * 長崎大学教養部創立30周年記念論文集 (長崎大学教養部編刊) 1995-3 B5 410,50p
 異文化理解における日本語教育の役割 (奥村訓代) 「和名類聚抄」の訂本の位置付けについて (不破浩子)
- 46 フェリス女学院大学国文学論叢 日本文学科創設30周年記念 (フェリス女学院大学文学部日本文学科編刊) 1995-6 A5 473p
 「平安遺文」の用字用語若干 (佐藤喜代治) 「女性」小考 (進藤咲子) J. C.ヘボン「和英語林集成」初版・再版・三版における形容詞対照語彙表 <資料 近代における形容詞> (安部清哉; 森温子) 山形県庄内地方における共通語の「に」にあたる助詞の用法 三川町における社会言語学的調査(準備調査)から (佐藤亮一) 広島市方言アクセント アクセントの型と音声的相を中心に (馬瀬良雄)
- 47 安田女子大学大学院開設記念論文集 (安田女子大学編刊) 1995-3 B5 109,89,119p
 <英語学英米文学>使役構文と心理動詞 日英語比較統語論 (安藤貞雄) <日本語学日本文学>文章構成と心情に関わる動詞語彙 (永尾章曹) 自己学習力を育てる国語科授業の探求 (山本名嘉子)
- 48 *Anais do VI Encontro Nacional de Professores Universitários de Língua, Literatura e Cultura Japonesa.* — São Paulo, Centro de Estudos Japoneses da Universidade de São Paulo, 1995. A5, 192p.
 Kuno, Mariko:<Conferências>No Encalço das Palavras Mutantes. Joko, Alice Tamie:<Pesquisas em Língua e Lingüística Japonesas>Grau de Pertinência do Japonês Falado por Estudantes Brasileiros. Nomoto, Chizuko:O Papel dos Cartazes Ilustrados no Ensino da Língua. Kuyama, Megumi:Pesquisas em Língua Japonesa; Situação da Língua Japonesa no Distrito Federal. Saito, Miyoko:Giongo;A Função Adverbial com a Repetição de Duas Palavras. Carvalho, Nanci Emi Shimoida de:As Partes do Discurso nas Gramáticas de Rodriguez. Tominaga, Yumiko:Diferentes Formas de Expressar Pedidos de Favor (Yari-Morai).
- 49 宇佐・院内・安心院地域 自然・社会・教育 <地域総合研究論文集> Usa, Innai and Ajimu Areas in Oita, Japan; Nature, Society and Education <Special

Research Supported by the Japanese Ministry of Education> (大分大学教育学部編刊) 1995-3 B5 432p

3.教育・文化 宇佐地域における昭和初期の国語教育 (後藤惣一) 宇佐・院内・安心院地域の方言 (日高貢一郎)

50 研究報告集16 <国立国語研究所報告110> (国立国語研究所編刊)

1995-3 A5 206p 非売

発話がもたらす対人効果の研究(1) 投書におけるメタコミュニケーション行動の分析 (尾崎喜光)
敬語行動と規範意識 肥筑方言域における言語行動調査から (吉岡泰夫) 岩手県種市町平内
方言の用言の活用 (大西拓一郎) ノイズに埋もれた漢字と仮名の認知 (横山詔一; 米田純
子) 〻富良野市におけるカ行鼻音の動向 (相沢正夫) 方言終助詞の意味分析 富山県砺波方
言の「ヤ／マ」「チャ／ワ」 (井上優) 朝鮮語했다形, 해 있다形(하고 있다形)と日本語シ
タ形、シテイル形 (生越直樹)

51 * 日本語論究 4 言語の変容 <研究叢書171> (名古屋・ことばのつどい編集委員会編)

和泉書院 1995-9 A5 241,130p 9270円